

アーティストインタビュー

滝 千春 CHI HARU TAKI

世界を舞台に活躍する小金井ゆかりのヴァイオリニスト・滝 千春によるプロジェクト「12-toneS」。第一線で活躍する同世代の12人の仲間たちと共に、ヴァイオリンと弦楽器の魅力に迫るコンサートです。シュニツケ、ペルト、バルトークという刺激的なプログラムは、音楽の“かっこよさ”“面白さ”を追求する滝さんこだわりの選曲。プログラムについて、そして、公演への思いについてうかがいました。

滝 千春と12人の仲間たちが集結！
デュオと合奏で弦楽器の魅力を

滝 千春が座長を務める「12-toneS」。当初2022年1月に行う予定でしたが、コロナ禍のため一旦中止になったのち、約2年を経て待望の復活公演となります。

「滝 千春らしいことをしてほしい」というホールからの嬉しい依頼でスタートした企画です。各方面との準備が順調に進んでいたため、公演中止はその事実が受け入れられないほど落ち込みました。でも今年12月、ついに開催となります！」

「12-toneS」とは、すべての音を同等に扱う作曲技法、十二音音楽に意味を重ねたもので、滝 千春と12人の仲間たちが対等に活躍するアンサンブル。2022年のメンバーから2人変更となりますが、いずれも滝さんが音楽的にも人間的にも厚い信頼を寄せる音楽家たちです。コンサートは、前半がヴァイオリンとピアノのデュオ、後半が弦合奏というユニークな構成になります。

「ホールから提示された条件は“滝 千春出演”だけ。ならば弦楽器のいろいろな可能性を見せたいと思い、前半と後半で大きくテイストを変えました」

それというも、滝さんのモットーからきています。

「“普通”を避けたい。“当たり前”を崩していきたいんです。クラシック音楽のかしこまったイメージを崩したいですし、そもそもクラシックというジャンル付けにも違和感を覚えていて。ジャンルの枠を取っ払って、ただひたすらに“面白いもの”“かっこいいもの”を追求していきたい。今はその実験中です」

そんな今回のプログラムは、シュニツケ、ペルト、バルトークというロシア・東欧の20世紀音楽です。馴染みのない作曲家ばかり……とお思いの方もいらっしゃるでしょうが、「知らない曲でしたら、なおさら聴いていただきたいです！ 知らないことを知って楽しいですよ」。滝さんの演奏を通して、未知の作曲家を知る楽しみを体験いただく前に、曲についてご紹介しましょう。

コンサート前半は、ロシアの作曲家シュニツケの作品です。

「シュニツケの音楽はいろいろなジャンルをミックスした“多様式主義”と呼ばれていて、そんな彼の存在自体が私のテーマとなっている作曲家です。ヴァイオリン・ソナタ 第1番は、本当に面白い作品で、独特のリズム感がクセになります。そしてミソが『きよしこの夜』。クリスマス前という時期にぴったりですが、実は皮肉たっぷりの曲。どれだけ真面目な顔をして弾こうかと今から楽しみにしています(笑)」

後半は、エストニアの作曲家ペルトの作品で始まります。

「ペルトは、シュニツケと同世代の作曲家。私はスイスのダボス音楽祭でお



会いたことがあって、写真で見た通り、独特の雰囲気のある方でした。教会音楽も勉強された方で、その音は宗教的。『鏡の中の鏡』は天使が降りてくるような音楽です」

最後はバルトークの「ディヴェルティメント」です。

「今回のプログラムを考えるにあたり、最初に“弾きたい！”と思った曲です。バルトークは民族音楽研究家でもあります。私、民族音楽もすごく好きなんです。バルトーク特有のリズム感はやっぱ魅力的ですね。弦楽器の力が一番発揮されるのは合奏。この日の目玉の曲になると思います」

コンサートは鏡
そこにどんな自分が映るか

演奏会に先立ち、関連講座も2回開催します。出演は、滝さんと、普段から滝さんの楽器をメンテナンスしている小金井在住の弦楽器職人、岩崎清夫さん。楽器を作る側と演奏する側の両方から、弦楽器の魅力をご紹介します。

今年5月にリリースされたデビューアルバム「Prokofiev Story」も各方面で話題になっている滝さん。その内容は、演奏や曲の構成はもちろん、曲目解説の執筆、そしてデザインまでこだわって制作されています。「クラシック音楽はかっこいい」というイメージを伝えたいという思いのもと、多彩に活躍する滝さんの目標とは？

「企画を信頼してもらえるアーティストになりたいです。滝 千春というフィルターを通して音楽を伝えたい。“あの人、いつも面白いことやってるよね”と認知してもらえるようになったら嬉しいですね。最近、コンサートが鏡になって、そこに映る“今の私”を発見して楽しんでいる感があります。今後、鏡をもっと大きくしていき、それを皆さんに見ていただけるようにしていきたいです」

12月、“鏡”にどんな滝さんが映るか、お楽しみに！

FOCUSこがねい

滝 千春「12-toneS」～バルトーク・シュニツケ・ペルト～

2023年12月9日(土) 14:00開演 大ホール

全席指定 一般 3,000円 U25席 2,000円

【こがねいメンバーズ】一般 2,700円

第1ヴァイオリン：滝 千春 須山暢大 福田俊一郎
第2ヴァイオリン：丹羽紗絵 直江智沙子 三原久遠
ヴィオラ：大島 亮 瀧本麻衣子
チェロ：高木慶太 矢部優典 コントラバス：菅沼希望
ピアノ：沼沢淑音 パーカッション：福島あつ



関連講座 「弦楽器は語る」10/28(土) 14:00開演 第1回「歴史編」
【お話】岩崎清夫 小ホール
【お話：Vn】滝 千春 11/25(土) 14:00開演 第2回「楽器編」
小ホール